

生殖補助医療に関する同意書

体外受精、顕微授精、受精卵の凍結保存、融解移植に際しては、下記の同意書が必要です。ご夫婦で署名捺印した上で提出してください。

体外受精に関する同意書（初回採卵に必要）

顕微授精に関する同意書（初回採卵に必要）

受精卵凍結保存に関する同意書（初回採卵に必要）

凍結受精卵融解胚移植に関する同意書（その都度必要）

同意書は、「保管用」と「提出用」の2部からなります。

「保管用」は、控えとしてお持ち下さい。

採卵当日に提出する同意書

	体外受精を受ける方	顕微授精を受ける方
体外受精に関する同意書	○	
顕微授精に関する同意書	○	○
受精卵凍結保存に関する同意書	○	○
凍結受精卵融解胚移植に関する同意書#	移植時	移植時

「凍結受精卵融解胚移植に関する同意書」は、凍結胚移植実施時にお渡ししますので、移植当日に提出してください。

普段、精液の検査が良好で体外受精を予定している場合でも、当日の状態によっては顕微授精となる可能性がありますので、体外受精と顕微授精の両方の同意書を提出してください。

（厳守）署名はご夫婦の自筆に限ります。

体外受精についての同意書 (保管用)

適 応 卵管性 男性 免疫性 原因不明不妊のため、体外受精を施行します。

方 法 体外受精の具体的な治療法については、マニュアルをご参照ください。

成 績 当施設での体外受精の妊娠率については別刷りの成績表をご参照ください。

リスク

1) 現時点では体外受精により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響（たとえば次世代、次々世代）については不明である点をご了承下さい。

2) 排卵誘発剤により卵巢過刺激症候群の生じる場合があります。重症の場合、胸腹水の貯留や脳血栓などの重篤な合併症を引き起こすことがあります。

3) 採卵処置に際して、腹腔内大量出血、臓器損傷を引き起こすことが希にあります。
安静にて改善しない場合、開腹処置や輸血等を要することがあります。また使用する麻酔薬などによりアレルギー反応が生じる場合があります

4) 移植により流産や子宮外妊娠などの異常妊娠が発生することがあります。

5) 移植により多胎妊娠となる可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費（自由診療）となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。その内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

緊急の事態が発生した場合には、それに対する処置も受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

顕微授精についての同意書 (保管用)

適 応 乏精子症 精子無力症 無精子症 (精巣内精子) 抗精子抗体陽性
 その他の受精障害 のため、顕微授精を行います。

方 法 顕微授精の具体的な治療法については、マニュアルをご参照ください。

成 績 当施設での顕微授精の妊娠率については別刷りの成績表をご参照ください。

リスク

1) 現時点では顕微授精により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。

Y染色体異常による精液異常に対して顕微授精が行われ、これにより男児が出産した場合、男性不妊を受け継ぐ可能性があることをご了承ください。

2) 排卵誘発剤により卵巣過刺激症候群の生じる場合があります。重症の場合、胸腹水の貯留や脳血栓などの重篤な合併症を引き起こすことがあります。

3) 採卵処置に際して、腹腔内大量出血、臓器損傷を引き起こすことが希にあります。安静にて改善しない場合、開腹処置や輸血等を要することがあります。また使用する麻酔薬などによりアレルギー反応が生じる場合があります

4) 移植により流産や子宮外妊娠などの異常妊娠が発生することがあります。

5) 移植により多胎妊娠となる可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....
ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。その内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

緊急の事態が発生した場合には、それに対する処置も受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

受精卵凍結保存についての同意書 (保管用)

適 応 副作用 (OHSS) の回避 余剰卵の保存 高エストロゲン状態の回避
のため受精卵の凍結保存を行います。

方 法 凍結保存の有用性、リスク、方法等については、マニュアルをご参照ください。

凍結規約 受精卵の凍結、保存、廃棄については「受精卵凍結規約」をご参照ください。
なお受精卵の凍結期間は生殖年齢を超えない期間とし、一年毎に延長申請を
行うものとする。また離婚や配偶者の死去の場合には、廃棄します。

成 績 受精卵の凍結融解胚移植の治療成績については、別刷りの成績表をご参照
ください。

リスク

1) 現時点では凍結受精卵の融解胚移植により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率
はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため
長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。

2) 受精卵の凍結と融解に際し、ダメージが発生して変性卵となることがあります。

3) 受精卵の凍結と融解に際し、透明帯の硬化による孵化障害を起こすことがあります。

この場合、移植に際して孵化補助法が必要となります。

4) 災害などにより、凍結受精卵が損傷、紛失する可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることが
あります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。また「受精卵凍結規約」の内容について十分に
理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

凍結受精卵の融解胚移植についての同意書 (保管用)

- 適 応 副作用 (OHSS) の回避 余剰卵の保存 高エストロゲン状態の回避
のため凍結保存されている受精卵を用いて融解胚移植を行います。
- 方 法 融解胚移植の有用性、リスク、方法等については、マニュアルをご参照ください。
- 凍結規約 受精卵の凍結、保存、廃棄については「受精卵凍結規約」をご参照ください。
凍結受精卵の融解胚移植は、婚姻関係のある夫婦において、双方の同意がある場合にのみ実施されます。被実施者が生殖年齢を超えている場合や、離婚や配偶者の死去の場合には、移植することはできません。
- 成 績 受精卵の凍結融解胚移植の治療成績については、別刷りの成績表をご参照
ください。

リスク

- 1) 現時点では凍結受精卵の融解胚移植により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。
- 2) 受精卵の凍結と融解に際し、ダメージが発生して変性卵となることがあります。
- 3) 受精卵の凍結と融解に際し、透明帯の硬化による孵化障害を起こすことがあります。
この場合、移植に際して孵化補助法が必要となります。
- 4) 災害などにより、凍結受精卵が損傷、紛失する可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。また「受精卵凍結規約」の内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生
妻 印 昭和・平成 年 月 日生

体外受精についての同意書 (提出用)

適 応 卵管性 男性 免疫性 原因不明不妊のため、体外受精を施行します。

方 法 体外受精の具体的な治療法については、マニュアルをご参照ください。

成 績 当施設での体外受精の妊娠率については別刷りの成績表をご参照ください。

リスク

1) 現時点では体外受精により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響(たとえば次世代、次々世代)については不明である点をご了承下さい。

2) 排卵誘発剤により卵巢過刺激症候群の生じる場合があります。重症の場合、胸腹水の貯留や脳血栓などの重篤な合併症を引き起こすことがあります。

3) 採卵処置に際して、腹腔内大量出血、臓器損傷を引き起こすことが希にあります。
安静にて改善しない場合、開腹処置や輸血等を要することがあります。また使用する麻酔薬などによりアレルギー反応が生じる場合があります

4) 移植により流産や子宮外妊娠などの異常妊娠が発生することがあります。

5) 移植により多胎妊娠となる可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費(自由診療)となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。その内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

緊急の事態が発生した場合には、それに対する処置も受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

顕微授精についての同意書 (提出用)

適 応 乏精子症 精子無力症 無精子症 (精巣内精子) 抗精子抗体陽性
 その他の受精障害 のため、顕微授精を行います。

方 法 顕微授精の具体的な治療法については、マニュアルをご参照ください。

成 績 当施設での顕微授精の妊娠率については別刷りの成績表をご参照ください。

リスク

1) 現時点では顕微授精により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。

Y染色体異常による精液異常に対して顕微授精が行われ、これにより男児が出産した場合、男性不妊を受け継ぐ可能性があることをご了承ください。

2) 排卵誘発剤により卵巢過刺激症候群の生じる場合があります。重症の場合、胸腹水の貯留や脳血栓などの重篤な合併症を引き起こすことがあります。

3) 採卵処置に際して、腹腔内大量出血、臓器損傷を引き起こすことが希にあります。安静にて改善しない場合、開腹処置や輸血等を要することがあります。また使用する麻酔薬などによりアレルギー反応が生じる場合があります

4) 移植により流産や子宮外妊娠などの異常妊娠が発生することがあります。

5) 移植により多胎妊娠となる可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。その内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

緊急の事態が発生した場合には、それに対する処置も受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

受精卵凍結保存についての同意書 (提出用)

適 応 副作用 (OHSS) の回避 余剰卵の保存 高エストロゲン状態の回避
のため受精卵の凍結保存を行います。

方 法 凍結保存の有用性、リスク、方法等については、マニュアルをご参照ください。

凍結規約 受精卵の凍結、保存、廃棄については「受精卵凍結規約」をご参照ください。
なお受精卵の凍結期間は生殖年齢を超えない期間とし、一年毎に延長申請を
行うものとする。また離婚や配偶者の死去の場合には、廃棄します。

成 績 受精卵の凍結融解胚移植の治療成績については、別刷りの成績表をご参照
ください。

リスク

1) 現時点では凍結受精卵の融解胚移植により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率
はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため
長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。

2) 受精卵の凍結と融解に際し、ダメージが発生して変性卵となることがあります。

3) 受精卵の凍結と融解に際し、透明帯の硬化による孵化障害を起こすことがあります。

この場合、移植に際して孵化補助法が必要となります。

4) 災害などにより、凍結受精卵が損傷、紛失する可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることが
あります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

.....

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。また「受精卵凍結規約」の内容について十分に
理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生

妻 印 昭和・平成 年 月 日生

凍結受精卵の融解胚移植についての同意書 (提出用)

- 適 応 副作用 (OHSS) の回避 余剰卵の保存 高エストロゲン状態の回避
のため凍結保存されている受精卵を用いて融解胚移植を行います。
- 方 法 融解胚移植の有用性、リスク、方法等については、マニュアルをご参照ください。
- 凍結規約 受精卵の凍結、保存、廃棄については「受精卵凍結規約」をご参照ください。
凍結受精卵の融解胚移植は、婚姻関係のある夫婦において、双方の同意がある場合にのみ実施されます。被実施者が生殖年齢を超えている場合や、離婚や配偶者の死去の場合には、移植することはできません。
- 成 績 受精卵の凍結融解胚移植の治療成績については、別刷りの成績表をご参照
ください。

リスク

- 1) 現時点では凍結受精卵の融解胚移植により出生した児とそれ以外の児との先天異常の発生率はほぼ同等であるといわれています。しかし、臨床応用されてまだ歴史が浅い治療法であるため長期の影響 (たとえば次世代、次々世代) については不明である点をご了承下さい。
- 2) 受精卵の凍結と融解に際し、ダメージが発生して変性卵となることがあります。
- 3) 受精卵の凍結と融解に際し、透明帯の硬化による孵化障害を起こすことがあります。
この場合、移植に際して孵化補助法が必要となります。
- 4) 災害などにより、凍結受精卵が損傷、紛失する可能性があります。

治療費 治療期間中の検査、投薬、処置等の費用は、すべて自費 (自由診療) となります。

個人情報 治療成績は匿名性を厳守した上で、学会への報告や研究発表に用いられることがあります。個人情報の取り扱いには十分な注意を心がけます。

ASKA レディースクリニック 院長 中山 雅博

ASKA レディースクリニック院長殿

上記のように説明を受けました。また「受精卵凍結規約」の内容について十分に理解しましたので生殖補助医療を受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

住所

夫 印 昭和・平成 年 月 日生
妻 印 昭和・平成 年 月 日生